

平成28年度事業報告

1 概要

わが国は65才以上の人口が3,000万人を超え、総人口に占める割合も25%に達する超高齢化社会を迎え、2060年には40%近い水準となることが推計されています。

高齢化が進展する中で地域の活力を維持するためには、高年齢者が長年培ってきた豊かな経験と知識・能力を活用することが期待されています。就業を通じて社会参加し、地域社会づくりに貢献すると同時に、高齢者自身の健康や生きがいを高めている宇部市シルバー人材センターの事業は、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織として、その果たすべき役割はますます重要になっています。

このような中、入会者は年金支給年齢の繰り延べによる雇用延長等により減少傾向が続き、景気回復のきざしが余り反映されていない民間企業からの受注量の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は、ますます厳しい状況となりつつあります。

この厳しい社会情勢の中、「第二次中期基本計画」及び「平成28年度事業計画」に基づき、公益社団法人としてより公益性を目指し、事業展開や効率的な運営を積極的に展開してまいりましたが、会員数は1,286人となり、前年度に比べ3.1%の減になりました。

事業実績では、請負・委託事業は一部業務において受注量の減少があったことにより前年度に比べ約4,030千円、派遣事業も約1,020千円の減少となりました。

請負・委託事業と派遣事業の合算契約金額は560,586,844円となり、前年度に比べ約0.9%の減少となりました。

次に、安全就業については、傷害事故は、前年度より2件増加し4件、また、賠償事故につきましても2件増加し9件発生しております。

安全就業はシルバー人材センター事業の基本であり、全会員が「安全はすべてに優先する」を強く自覚し、今まで以上に、会員と安全衛生委員会、安全就業推進員が一体となって、傷害及び賠償事故撲滅を目指し、より一層積極的に取り組む必要があります。

2 事務事業の実施状況

(1) 会員の動向

平成 28 年度末の会員数は、前年度に比べ 41 人減の 1,286 人になりました。

この内訳は、150 人の方が新たに入会されましたが、一方、諸般の事情から退会を余儀なくされた方が 191 人となっております。

年金支給年齢の繰り延べによる雇用延長等により、入会者は減少傾向が続いていますが、会員の紹介により 24 人の入会者がありました。

また、市広報やサンデー宇部への入会案内の掲載、宇部まつり・菖蒲まつりなど街頭キャンペーンを行って参りましたが、今後もより一層の努力を重ね、一人でも多くの方が入会され、就業の場を通じて地域社会への貢献と、自らの健康づくりや生きがいの充実を求めていると考えております。

(2) 事業実績

平成 28 年度の請負・委託事業での受注件数は 5,790 件、契約金額は前年度に比べ約 0.7%減の 537,598,146 円となりました。また、派遣事業での受注件数は 23 件、契約金額は前年度に比べ約 4.2%減の 22,988,698 円となりました。

受託事業と派遣事業を合わせた件数は 5,813 件、契約金額は 560,586,844 円、就業実人員は 1,012 人、就業延べ人員は 106,211 人、就業率につきましては 78.7%で前年度より 0.5%の減となりました。

請負・委託、派遣事業の契約金額につきましては、景気回復のきざしが余り反映されていないことによる民間企業からの受注減など厳しい状況でした。

なお、会員の紹介により 42 件の新規就業獲得がありました。

(3) 普及啓発活動

地域社会に広くご理解とご支援を得るため、コミュニティ紙上での就業開拓やイベント会場でのチラシ配布など普及啓発に努めました。

また、地域班によるボランティア活動にも 160 人の会員が参加し、普及啓発活動に努めました。

今後も更なる会員の増強と就業機会の拡大を図るため、会員の口コミによる入会勧誘や就業先での他業務紹介など、会員、役員、職員が積極的な普及啓発活動を推進する必要があります。

(4) 安全就業の確保

傷害事故の発生件数は昨年度に比べ2件増加し4件発生しております。

発生状況は就業中3件、就業途上1件となっております。

また、市内でも高齢者の交通事故が多発している現状を踏まえ、就業途上の交通事故防止を図るため「会員のつどい」において宇部警察署による交通安全講習を開催し、交通安全意識の高揚に取り組みました。

賠償事故につきましては、9件発生しております。毎月、安全衛生委員会による就業先への安全パトロールを実施しているところではありますが、会員一人ひとりが細心の注意と自覚をもって、作業の安全第一を心がける必要があります。

なお、傷害事故、賠償事故の当事者を対象に「会員安全研修会」を実施し、安全就業について再教育を図り、事故の再発防止に努めました。

(5) 会員組織活動の状況

センター事業の活性化とセンター運営に、より多くの会員の意向を反映させることを目的とし、自主的運営を主体とした地域班組織が整備されており、各地域において運営全般にわたる意見交換や班員相互の交流を図るのための会議が、多数の会員参加のもと全12地域で開催されました。

また、職群班も技術の向上と班員相互の親睦を図るため、会議や講習会が開催されております。

なお、会員の資質向上を目的に、講師を招いて「会員マナーアップ講習会」も開催しました。

(6) 会員の福利厚生

「会員のつどい」では、「防災」をテーマに、「災害に備えて」と題した講話や、「最近の交通情勢について」と題して飲酒運転の根絶、高齢者の交通安全についての講話、演芸大会、お楽しみ抽選会を行い、演芸大会では演芸同好会の皆さんの演技や会員によるカラオケの熱唱など、会員相互の親睦が図られました。